⑤

会　議　報　告　書

決　　裁							
市　長	副市長	部　長	課　長	副主幹	主査	主査補	班員
						相馬	西田

会議の名称　「北総線耐震化対策協議会における市長間協議」

報告者の職氏名	企画政策課　企画政策班　　主事　　堀田　侑希
日　　時	平成２６年７月１５日（火）　１５時００分～１５時３０分
場　　所	白井市　保健福祉センター２階検診室
出 席 者	別添出席者名簿のとおり

＜案件＞
１）「北総線の耐震補強に対する補助金交付について（回答）」の取扱いについて
２）その他

＜会議概要＞

１）「北総線の耐震補強に対する補助金交付について（回答）」の取扱いについて
○回答案について
　事務局より回答案作成までの経緯及び内容について説明。

＜質問・意見等＞
（鎌ケ谷市）
・北総線の耐震化については、沿線住民の安心・安全を守り、北総地域及び空港アクセスを繋ぐ路線であり、大切な事業と考えている。したがって、沿線６市で協調して、２７年度から速やかに国の補助事業として開始されるのが望ましいのではないかと考える。

　⇒異議なしとして回答案のとおり決定。

○回答の提出者及び提出時期について
　本来であれば沿線市長全員で提出することが望ましいと考えられるが、日程調整等様に時間がかかるため、どのように提出するか。

＜質問・意見等＞
（松戸市）
・誰か代表で一者か二者で行ければ良いのでは。白井市で代表として行っていただいても良い。

（市川市）
・白井市長に代表として会社に届けて頂ければと思う。公印も持ち回りで押していただいて、速やかに提出いただきたい。

⇒白井市が公印を押して、白井市長が代表して北総鉄道に回答文を提出することとして決定。

２）その他

○県の補助について

（白井市）

・事業期間内の県補助はどのようになるか。

（千葉県）

・県としては、２６年度から既に北総線に限らず、必要な鉄道の耐震化に補助するようなスキームを構築したところである。県も出来る限り沿線市と同額を補助することとして検討を続けていきたい。

○回答提出のスケジュールについて

（松戸市）

・いつまでに回答を出さなければならない等、スケジュールはあるか。

（千葉県）

・７月中に会社に届けるのが一番スムーズだと思う。

（松戸市）

・具体的な数字を含めて７月中に提出するということであるか。

（千葉県）

・今日決めた回答文をお返して、その後、具体的な数字の積算については来年度の当初予算に間に合うような形で会社にお返しできれば良いと思う。

○今後の進め方について

（白井市）

・今まで、協議会で継続し協議していただいている。これから耐震に対する沿線市の負担割合等について調整が必要となるので、引き続き、北総線耐震化対策協議会で協議を行っていきたいと思う。よろしいか。

⇒異議なし

⑤-3

北総線耐震化対策協議会における市長間協議

日　時　平成２６年７月１５日（火）午後３時
会　場　白井市　保健福祉センター２階検診室

次　　第

1　開会

2　あいさつ

3　議題

1）「北総線の耐震補強に対する補助金交付について（回答）」の取扱いについて

2）その他

4　閉会

⑤-4

北総線耐震化対策協議会における市長間協議　出席者名簿

平成26年7月15日（火）　午後3時～

白井市　保健福祉センター　2階検診室

【委　員】

団体名	職　名	氏　名
市川市	市長	大久保　博
船橋市	副市長	山﨑　健二
松戸市	市長	本郷谷　健次
鎌ケ谷市	市長	清水　聖士
印西市	市長	板倉　正直
白井市	市長	伊澤　史夫

【随行者】

職　名	氏　名
交通計画課長	花見　安弘
秘書課　主幹	舘野　裕之
企画財政部長	鈴木　隆
政策企画課　課長補佐	篠浦　淳二
街づくり部長	秩父　達也
交通政策課長	菊池　謙次
都市計画課長	金子　文夫
都市計画課　主査	星野　繁和
交通政策担当課長	小川　義雄
交通政策室長	堀越　庄一

【オブザーバー】

団体名	職　名	氏　名
千葉県	交通計画課長	関口　龍海
	室長	佐々木　一也
	副主幹	町山　明
	副主幹	里見　季彦

【事務局】

団体名	職　名	氏　名
白井市	総務部長	内藤　健作
	企画政策課副主幹	津々木　哲也
	企画政課課主事	堀田　侑希

⑤-5

北総総２６発第２０号
平成２６年 ５ 月 ８ 日

白井市長　伊 澤　史 夫 様

北総鉄道株式会社
取締役社長　金子 賢太郎

北総線の耐震補強に対する補助金交付について（お願い）

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素、当社業務につきましては、格別なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年４月１日付けで「特定鉄道施設に係る耐震補強に関する省令」が施行され、首都直下地震を踏まえ、北総線全区間について耐震補強を速やかに実施することが事業者の努力義務とされたところです。

もとより耐震補強は鉄道事業の生命ともいうべき安全・安心輸送のためにゆるがせにできない重要な課題であり、かつ、重大な責務であると認識しており、可能な限り迅速に耐震補強を推進してまいる所存です。

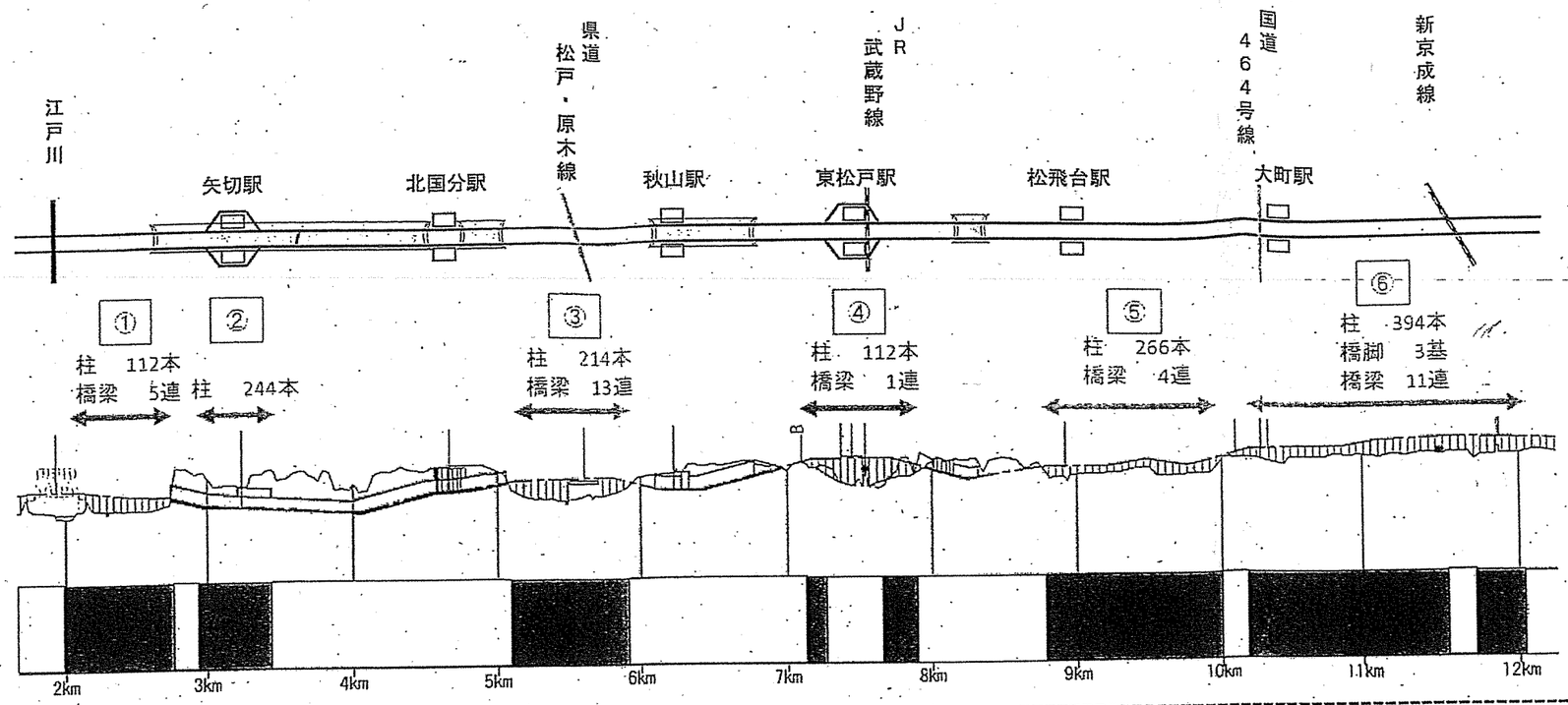
また、既に関係自治体でも検討が開始されていると仄聞いたしております。

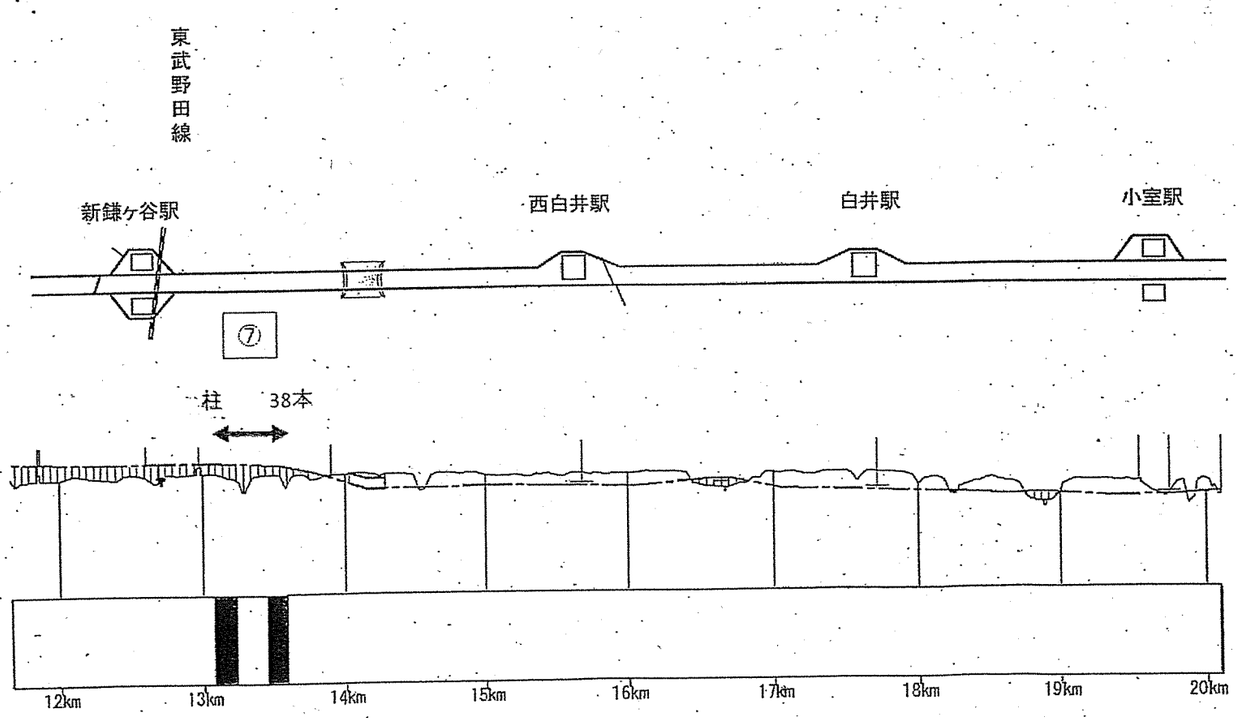
北総線は、沿線にお住いの多くの住民の方々にとって重要な、全体として一本のライフラインともいうべき必要不可欠の移動手段であり、また、耐震化は交差する道路施設等周辺施設の安全にも寄与することから、貴市におかれましても、よろしくご理解いただき平成２７年度以降補助金の交付につき特段のご配慮を賜りたく、お願い申し上げます。

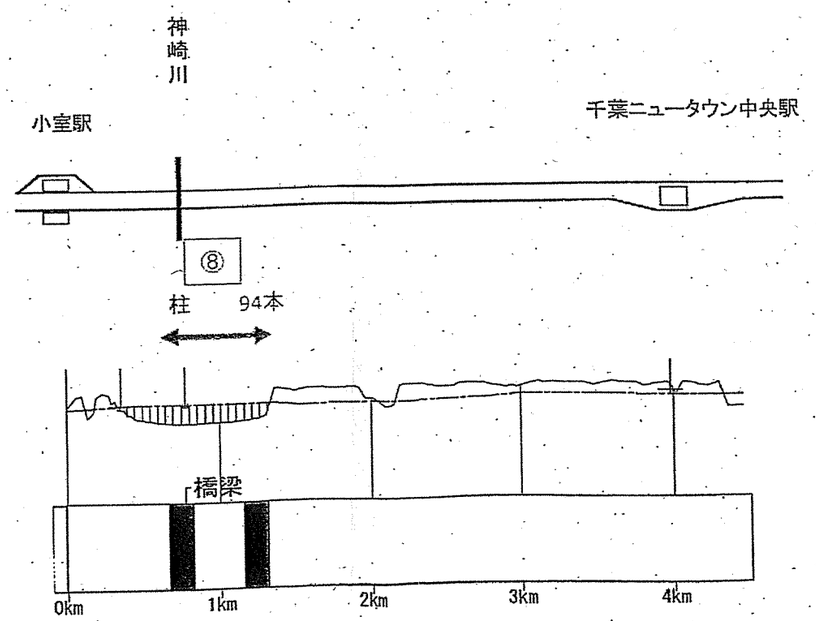
なお、現時点で把握している対象の高架橋柱、橋脚、橋梁の所在及び対象施工数は別図のとおりです。

白井市
企画政策課
26.5.-8
第 91 号
収受

北総線　千葉県内の耐震補強補助対象数量







耐震補助対象数量 総計

柱	1,474本
橋脚	3基
橋梁	34連

凡例

■ 補助対象

―― 緊急輸送道路（未施工分）

※数量等については確定したものではなく、今後変更の可能性もある

⑤-7

回 答 案

平成２６年　　月　　日

北総鉄道株式会社
取締役社長　平田　憲一郎　様

市川市長　大久保　博

船橋市長　松　戸　徹

松戸市長　本郷谷　健次

鎌ケ谷市長　清水　聖士

印西市長　板倉　正直

白井市長　伊澤　史夫

北総線の耐震補強に対する補助金交付について（回答）

今般、貴社から平成２６年５月８日、９日、１２日及び１３日に提出されました要望文について、北総線沿線６市である市川市、船橋市、松戸市、鎌

ケ谷市、印西市及び白井市（以下「沿線市」という。）は、下記のとおり回答します。

記

沿線市は、国の推進方針に基づく、首都直下地震等の大規模地震に備え、国土強靭化の観点から地震等における空港アクセス線の確保を図るとともに、一時避難所や緊急輸送道路の確保等の公共的機能も考慮し、かつ北総鉄道を利用する市民及び鉄道施設付近に居住する市民等の安全を確保するため、早期に北総線の耐震化を行う必要性を認識しております。

このような中、貴社より示されました耐震化事業における各市の支援については、事業計画期間内での着実な整備がなされるよう沿線市全体で負担することが枢要と考え、協議を重ねている段階でございます。